

# 平成26年度 決算のお知らせ

収入総額	53億4,386万2千円	(経常収入 44億6,107万4千円)
支出総額	48億4,240万4千円	(経常支出 47億7,744万1千円)
決算残金	5億 145万8千円	(経常収支差引額 ▲3億1,636万7千円)

## 健康保険

当健保組合の平成26年度決算は、収入総額53億4,386万円、支出総額48億4,240万円となり、収支差引では5億146万円の残金が生じましたが、積立金からの繰入金等を除いた実質的な経常収支差引では3億1,637万円の赤字となりました。

健保組合の主な収入である保険料は、44億3,280万円（前年度比1億1,915万円増）となりました。

一方、主な支出は、皆さまの医療費にあてられる保険給付費20億9,870万円（同1億1,846万円増）と、高齢者医療制度への財政支援にあてられる納付金22億4,307万円（同4億5,865万円増）で、急激に増加しました。その結果、この2つの支出のみで保険料収入の98%を占め、その他の支出のほとんどを別途積立金等からの繰入金で補填せざるを得ない非常に厳しい財政運営となりました。

平成27年度の健保組合予算早期集計によりますと、健保全体の赤字総額は1,429億円に上り、高齢者医療制度が導入されて以来、8年連続の大幅赤字と

いう危機的状況であることが明らかになりました。

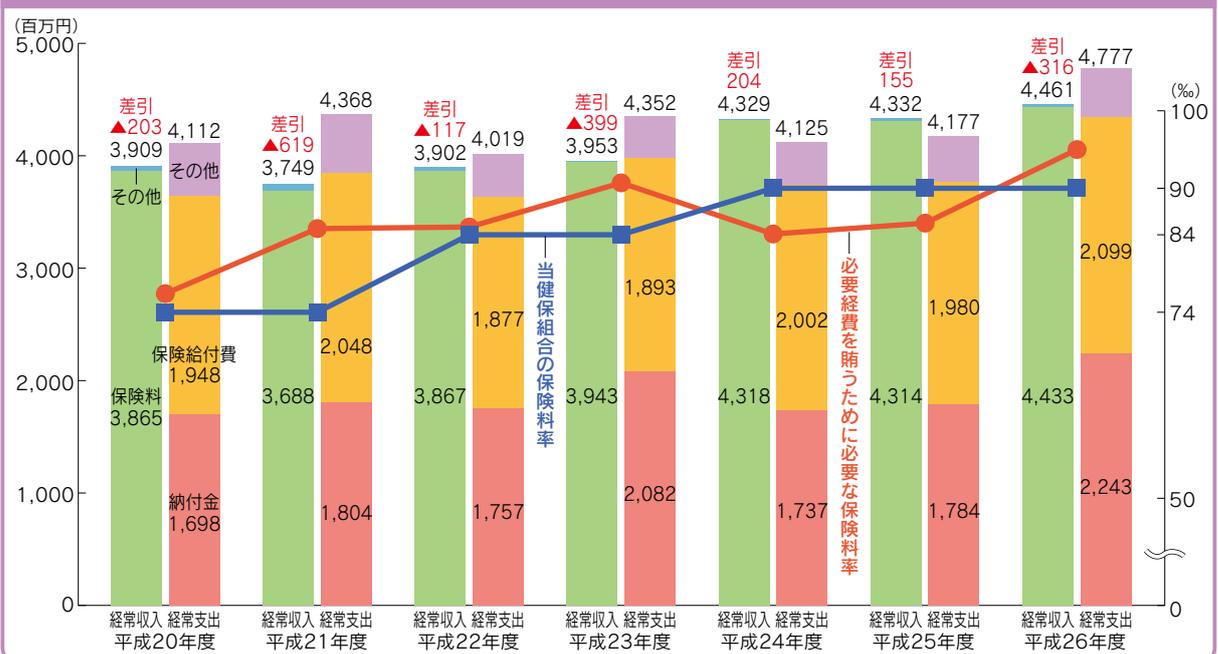
当健保組合でも大幅な赤字決算が続いています。平成24年度には保険料率を引き上げ、一旦は黒字に転じたものの、26年度は納付金の急増により再び大幅な赤字決算となり、過去7年間の累計赤字額は約13億円にも上ります（グラフ参照）。

当健保組合では、今後も皆さまの健康づくりを支援する健診などの疾病予防事業を実施してまいります。皆さまが健康を維持することが医療費の増加を抑制し、健保財政の安定化にもつながります。皆さまにおかれましては、年に1回健診を受診し、健康管理に役立てていただきますようご協力をお願いいたします。

決算基礎数値 決算の基礎となった数値は次のとおりです。

被保険者数	10,075人
被扶養者数	6,959人
標準報酬月額	33万9,097円
総標準賞与額	93億1,536万円
保険料率（調整保険料率を含む）	90/1000

【参考】当健保組合の財政状況



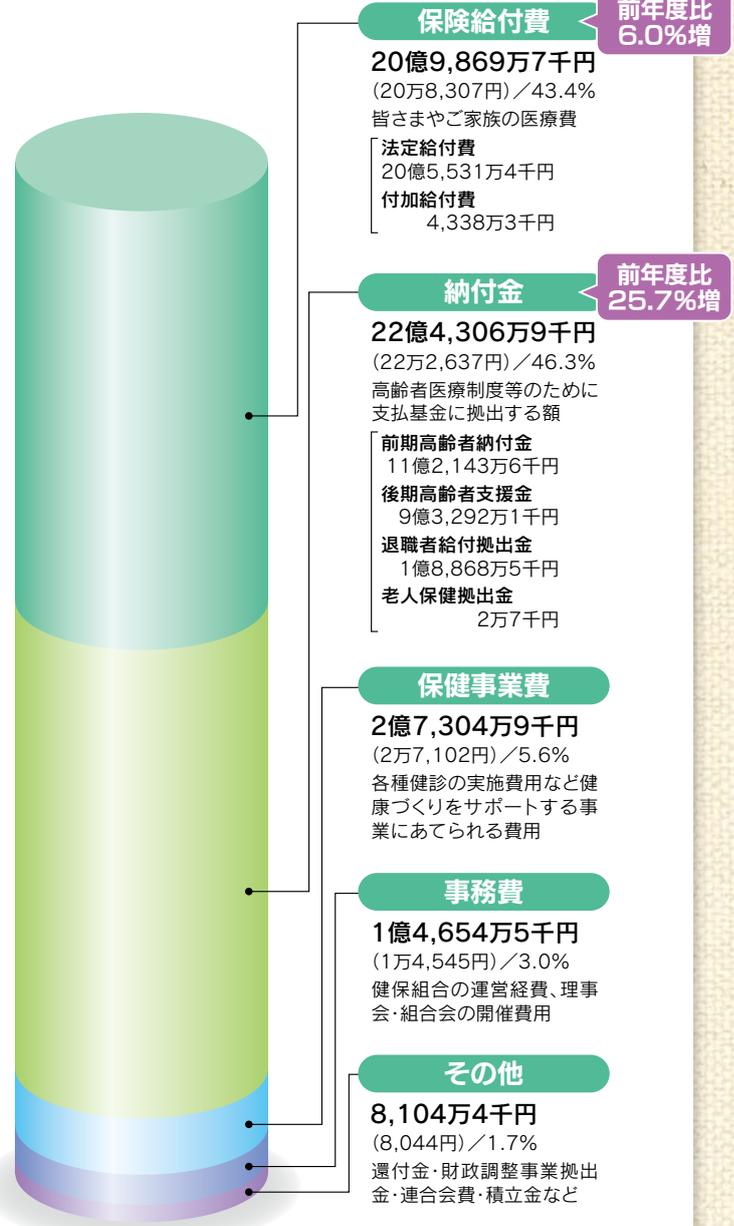
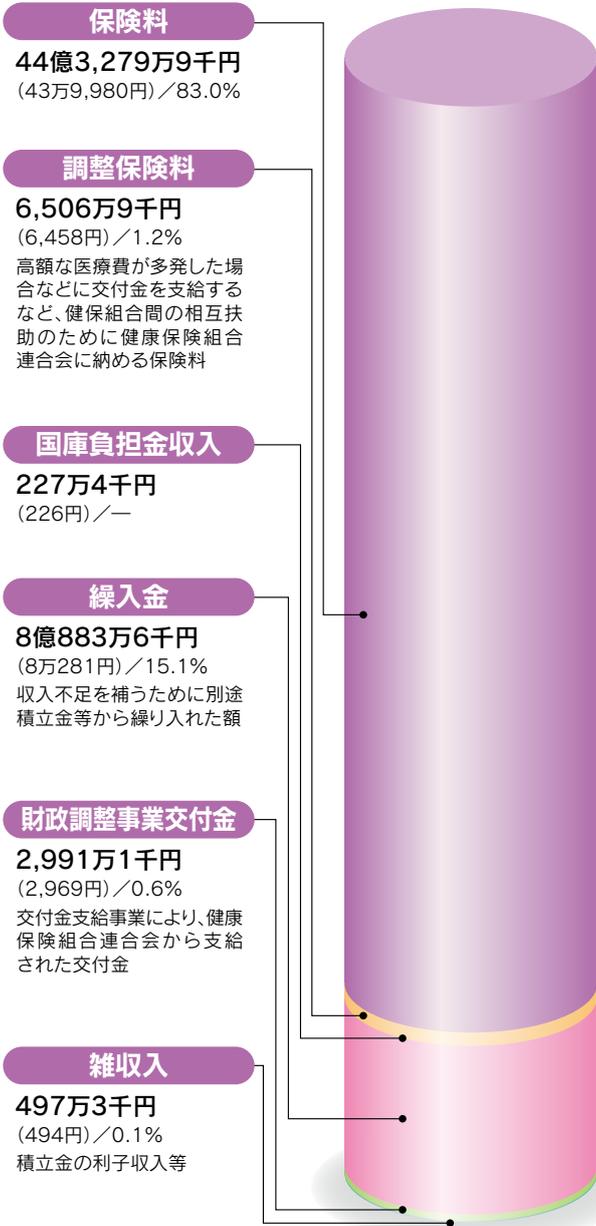
# 収入

収入総額 53億4,386万2千円 (53万408円)

# 支出

支出総額 48億4,240万4千円 (48万636円)

( )内は「被保険者1人当たり額」  
%は「総額に対する割合」



## 介護保険

健保組合では、40～64歳の被保険者（介護保険第2号被保険者）から介護保険料を国に代わって徴収し、国に納付しております。

平成26年度は、国へ納める介護納付金3億6,681万円に対し、介護保険収入は4億2,789万円となりました。収支差引額9,112万円は全額を準備金に積み立て、将来の支出増に備えます。

### 収入

科目	決算額(千円)	介護保険第2号被保険者1人当たり額(円)
介護保険収入	427,893	96,329
繰入金	30,000	6,754
雑収入	45	10
合計	457,938	103,093

### 支出

科目	決算額(千円)	介護保険第2号被保険者1人当たり額(円)
介護納付金	366,806	82,577
介護保険料還付金	16	4
合計	366,822	82,580